



生きものにとって自然の森だけが大切なのか？

— 熱帯と温帯の里山 —

入場無料

生物多様性の減少を防ぐためには、原生的な自然の森を保護するしかないのでしょうか。生物多様性は、長い歴史と複雑な進化のたまものなので、たしかに原生林の保護は大切でしょう。しかし、一方で、盛んな人間活動の下で作り上げられてきた生物多様性もあります。このセミナーでは、生物多様性と人間の文化の多様性との関係についても言及したいと考えています。(セミナーは対談形式で行います。)

阿部健一 (京都大学地域研究統合情報センター 准教授)

市川昌広 (総合地球環境学研究所 准教授)

【日 時】 11月9日 (金) 15:00—16:30 (14:30開場)

【会 場】 地球研講演室

【定 員】 100人 (申し込み順)

□ 地下鉄とバスをご利用の場合

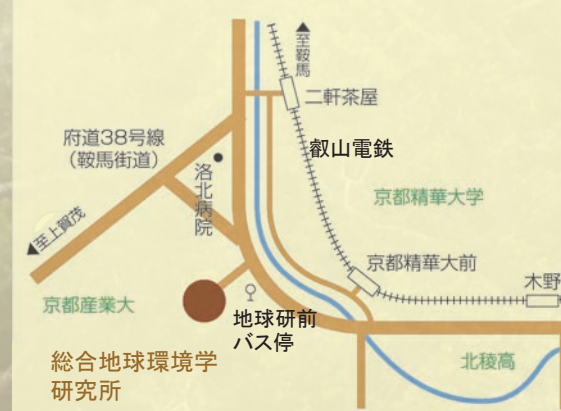
地下鉄烏丸線「国際会館」駅 から京都バス40系統「京都産業大学」行のバスに乗り「地球研」前で下車下さい。

京都バス時刻表

- ・「国際会館」発： 13:58 14:18 14:38
- ・「地球研前」発： 16:40 16:55 17:10

□ 叡山電鉄鞍馬線をご利用の場合

「京都精華大前」駅または、「二軒茶屋」駅で下車下さい。徒歩約10分です。



* ご来場の際は、各種公共機関をご利用いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ
お申し込み先

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 **総合地球環境学研究所 総務課企画室**

・ TEL : 075-707-2173 ・ FAX : 075-707-2106 ・ E-mail : shimin-seminar@chikyu.ac.jp

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

URL : <http://www.chikyu.ac.jp>